

新年のごあいさつ



越前町長
敬信

町民の皆さま、あけましておめでとう
ございます。皆さまには、すがすがしい
平成19年の新春をご家族おそろいで、お
健やかに迎えになったこととお慶び申
上げます。

また、旧年中に賜りました心暖まる励
ましとご叱正に心から感謝を申し上げま
すとともに、町政の推進に格別のご理解、
ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、平成18年を振り返ってみますと、
国内は記録的な大雪に襲われ、交通網の
寸断や死者が相次ぎ、過疎地における「雪
との闘い」から高齢化や人口減少時代の
街づくりの難しさなど、新たな対応が求
められたように思います。また、国内景
気は戦後最長の「いざなぎ景気」を超え
る一方、「勝ち組、負け組」に象徴され
る格差社会が進行し、医療制度改革や介
護保険制度改革、障害者自立支援法の成
立など、福祉をとりまく環境は一段と厳
しくなりました。さらには、急速な人口
減少や高齢化時代を迎え、経済・社会情
勢にさまざまな構造的変化をもたらすこ
とが懸念され、子育て支援や男女共同参
画社会の推進など、少子化対策が重要な

政策課題として取り上げられました。他
にも、いじめや不登校、校内暴力、児童
虐待、青少年による凶悪な犯罪など、子
どもを取り巻く安全・安心が著しく損な
われた年でもありました。

一方、越前町においては、町のシンボ
ルとして「水仙」「竹」「かもめ」「越前がに」
が決まり、国際交流協会が発足しました。
4月には、地元である丹生高校へ進学す
る優秀な生徒を支援する「町青雲特待生
奨学金交付制度」が導入され、男女共同
参画推進委員会より「えちぜん男女共同
参画プラン」が答申されました。5月に
は、「越前学悠久塾」が開講し、6月には、
コミュニティバス「フレンドリー号」の
出発式が行われ、運行を開始し、7月に
は、国道365号梅浦バイパスの開通式
が行われました。8月には、全国高校総
体ホッケーの部で丹生高女子チームが準
優勝をかざり、第38回全日本ホッケー中
学生選手権大会では、朝日中女子チーム
が見事優勝しました。引き続き、第28回
全国スポーツ少年団・ホッケー交流大会
が本町で開かれ、全国から1,500人
あまりの大会関係者が訪れました。10月

には、整備を進めていた人工芝ホッケー
場が完成し、第7回全日本中学生都道府
県対抗11人制ホッケー選手権大会が開
かれ、選手たちは交流を深めました。3月
から始めた町政懇談会は延べ16回におよ
び、152件の提案・要望がありました。
その他、7月の豪雨では183件あまり
の被害箇所がありました。幸いにも人
的被害はありませんでした。また、5月
の第26回越前陶芸まつりを皮切りに、11
月の越前かまつりイベントは全て終
了し、20万人あまりの入込客数となりま
した。以上、昨年は多くの事業が行われ
ましたが、いずれも町民の皆さまの積極
的な活動の成果であり、実り多き年であ
りました。

さて、本年は、新生越前町にとって台
併後3年目を迎え、一層の行財政改革を
進める一方、これまでに取り組んできた
施策の仕上げを行い、町民の皆さまに対
し成果を確実に示すべき年であると考え
ています。特に子どもの教育や少子化対
策、安全・安心の確保、住環境の整備、
農林水産業の新たな展開、情報通信基盤
の整備、上下水道や道路などインフラ整
備などの重要課題に全力で取り組んでい
きたいと考えています。さらに、観光振
興元年として、越前ブランドや数多くの
文化財、伝統芸能、そして、ホッケー場
を中心とした体育施設、海・山・里の豊
かな自然、食材などを紹介し、全国に向
けて本町の魅力を発信していきたいと考
えています。

年頭にあたり、町民の皆さまのますま
すのご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、
新年のごあいさつといたします。



越前町議会議長
渡辺 恵

新年あけましておめでとうござい
ます。町民の皆さまには、ご家族お揃いで夢
と希望に満ちた輝かしい新春をお迎えの
ことと、お慶び申し上げます。

旧年中は、町議会の活動にご理解を賜り、
さらにはご支援、ご協力を賜りました
ことに心から厚くお礼を申し上げます。

今年の干支は亥です。猪と言えば「猪
突猛進」のイメージを持ちますが、猪の
肉は万病を防ぐと言われ、無病息災の象
徴とも言われています。平成19年は、き
つと平穏で健やかな年であると信じてと
ともに心から願っています。

昨年は、5年間続いた小泉政権が9月
に安部政権にバトンタッチしました。安
部総理大臣のもとで国政が動き、総理が
目指す「美しい国、日本」の実現に向けて、
「美しい国創り内閣」が始動しています。
安部総理の所信表明演説では、人口減少
を現実として捉え、都市と地方の格差や
教育の再生、さらに、企業モラルの低下、
国際社会の平和と安全に対する諸課題が
指摘されていました。ことに、国の財政
再建と行財政改革の断行を強く掲げ、地
方の行財政についても抜本的な改革を推

めながら、地方交付税改革を絡め地方に
自律を求めています。

また、日本経済は、戦後最長の「いざ
なぎ景気」を超えて回復を続けていると
言われていますが、地方では全く実感が
湧いてこないのが現状かと思えます。社
会現象としては、いじめによる自殺や必
修科目の履修漏れなど、学校教育の現
場が厳しく問われており、教育基本法の
改正により教育の再生が期待されていま
す。一方、隣国の北朝鮮のミサイル発射
や核実験の実施など、原子力発電所に隣
接する本町にとっても、心穏やかな状況
ではありません。

他方、おめでたい話もありました。悠
仁さまのご誕生や冬季オリンピックでの
日本人選手の活躍などのニュースに心を
躍らせました。平成18年はそんな年であ
ったように思います。

平成19年は、本町にとってどのような
年となるのでしょうか。
合併して2年、合併の功罪がささやか
れる頃ですが、本町の合併は、合併自体
を目的としたものではなく、あくまでも
まちづくりの手段としての合併でした。

しかし、合併しても人口の減少は続き、
高齢化や過疎化減少もとどまりません。
人口の流出を防ぎ、活力ある地域を築く
ことが本町の喫緊の課題であることは誰
もが認めるところでありますが、その手段につ
いても現実を無視して論ずることはでき
ません。まさに、現代社会は私たちが未
だかつて経験したことのないような新た
な事態に日々直面しています。

このような状況下にあつて、本町にお
いては良いところは伸ばし、悪いところ
は直していくことが大切で、一步一步着
実に前進することが求められています。

関町政も3年目を迎え、厳しい財政運
営の中で職員の英知を結集し、工夫と創
造を駆使しながら各種の施策に取り組ん
でいくものと思えます。町議会としまし
ても、議会の役割を十分に認識し、町民
の皆さまの負託に応えられるように、さ
らに議会の機能を充実させ、改革・前進
する議会を目指していきたいと考えてい
ます。

今年、春先に県知事選挙、県議会議
員選挙も行われます。私たち議員も一期
目の折り返し地点に立ちますが、初心を
忘れず、本町の発展に渾身の努力をし
ていく所存で、改めて町民の皆さまにお誓
い申し上げます。

年頭にあたり、町民の皆さまの益々の
ご健勝とご多幸を心からご祈念申し上
げ、新年のごあいさつといたします。